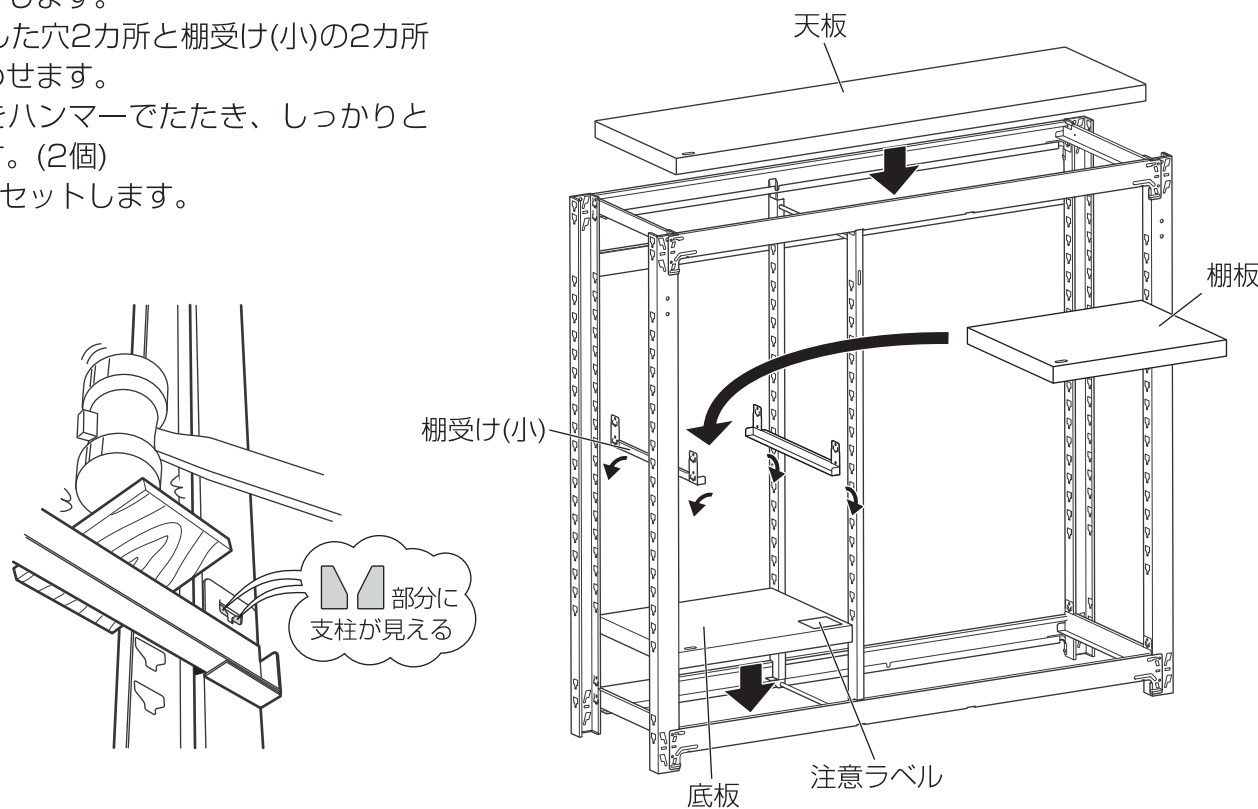


4 天板・底板・棚板をセットします。

- 天板と底板をセットします。
- 支柱の □ 形状をした穴2カ所と棚受け(小)の2カ所の切り起こしを合わせます。
- 棚受け(小)の上側をハンマーでたたき、しっかりと支柱に打ち込みます。(2個)
- 棚板を棚受け(小)にセットします。

ご注意

棚受け(小)は初めから強く打ち込まず、両端を交互に少しずつしっかりとかん合するまで打ち込んでください。

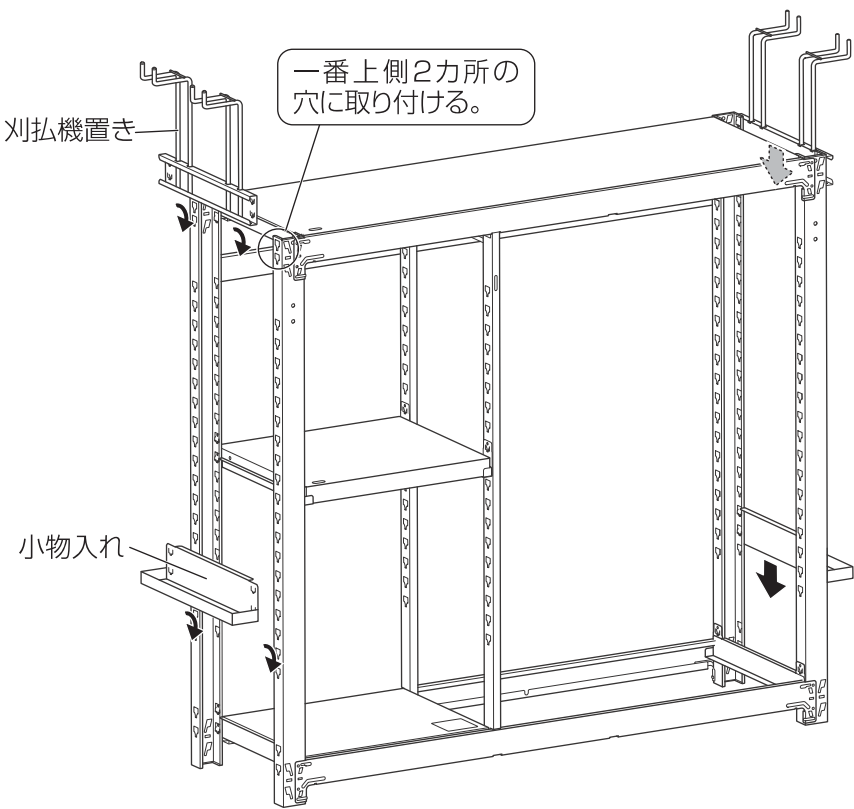


5 小物入れと刈払機置きを取り付けます。

- 支柱の外側にある □ 形状をした穴2カ所と小物入れの2カ所の切り起こしを合わせます。
- 小物入れの上側をハンマーでたたき、しっかりと支柱に打ち込みます。(2個) 小物入れは好きな高さに取り付けできます。(一番下側には取り付けしないでください。)
- 支柱の外側にある □ 形状をした穴の一番上2カ所と刈払機置きの2カ所の切り起こしを合わせます。
- 刈払機置きの上側をハンマーでたたき、しっかりと支柱に打ち込みます。(2個)

ご注意

小物入れ、刈払機置きは初めから強く打ち込まず、様子を見ながら少しずつしっかりとかん合するまで打ち込んでください。

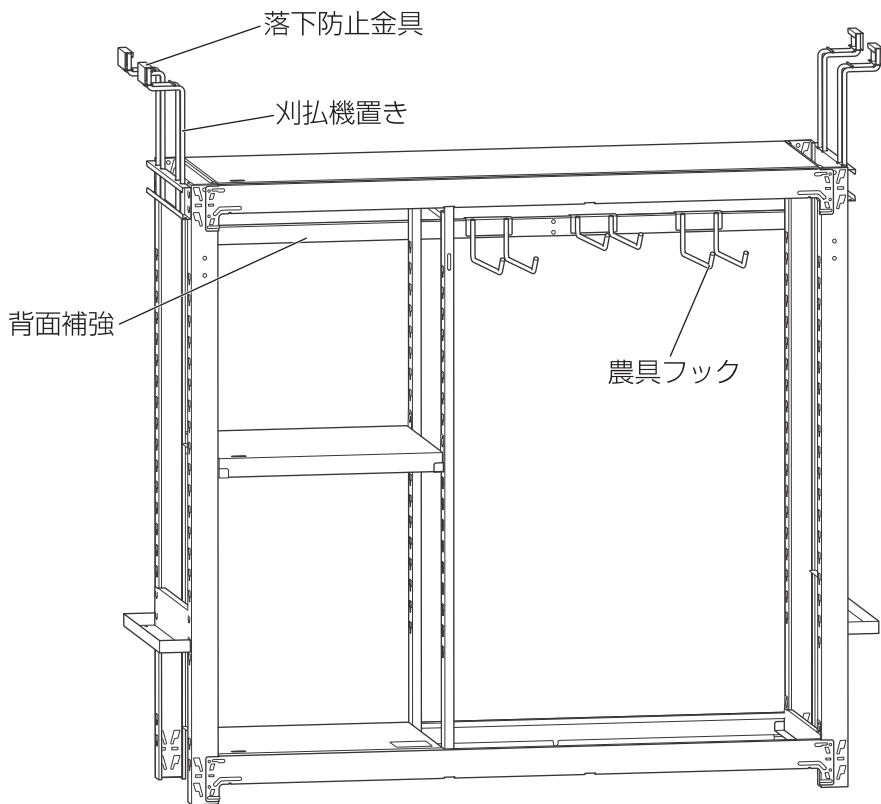


6 農具フックと落下防止金具を取り付けます。

- 農具フックを背面補強に引っかけて取り付けます。
- 落下防止金具を刈払機置きの先端にかぶせて取り付けます。

ご注意

予期せぬ事態における刈払機の落下を防止するため、刈払機を収納したときは、必ず落下防止金具を使用してください。



安全のために必ずお守りください

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための重要事項を警告・注意に分けて示します。必ずお守りください。

警告 取り扱いを誤ると、死亡または重傷などを負う可能性があります。

注意 取り扱いを誤ると、傷害または物的損害などが発生する可能性があります。

お守りいただく内容を次の絵表示で区別し説明しています。

⊘ してはいけないこと (禁止)を示します。

❗ 必ずすること (強制)を示します。

警告

⊘ 禁止
●天板・底板・棚板には1枚当たり200kg以上の荷物をのせない。
転倒や破損によるケガの原因になります。

●足場の代用としてよじ登ったり、寄りかからない。
転落や製品転倒によるケガの原因になります。

注意

❗ 必ず実施
●組立てはこの取扱・組立説明書の手順にしたがい、必ず専用部品を使用する。
手順を誤ると、組立て中に部品がはずれたり、倒れたりして、ケガの原因になることがあります。

●移動のときは、収納している物を全て降ろし、安全ピンが差し込まれていることを確認し、必ず支柱を持って動かす。
結合部がはずれ、ケガの原因になることがあります。

●床面が丈夫で平らな場所に水平になるように設置する。
転倒によるケガの原因になることがあります。不安定な地面に設置するときは必ず厚い板などを敷いてください。

●刈払機を収納する前に、必ず刈払機の説明書にしたがってエンジンオイルを抜く。
エンジンオイルがたれたり、刈払機の故障の原因になることがあります。

●刈払機を収納するときは、必ず刈払機の飛散防護カバーを刈払機置きに引っかけ、落下防止金具を使用する。
刈払機の落下によるケガ、故障の原因になることがあります。

●地震などにより転倒のおそれがあるときは、転倒防止の処置をする。
クサリなどで固定してください。

⊘ 禁止
●棚板からはみ出ような物をのせない。
転倒や破損によるケガの原因になることがあります。

●棚板には重い物を直接のせない。
棚板の変形や荷物の落下などによるケガの原因になることがあります。

●棚板を斜めにセットして使用しない。
左右の高さが異なると、棚板の変形や荷物の落下の原因になることがあります。

●農具フック、刈払機置きには1個あたり15kg以上の物を吊り下げない。
転倒や破損によるケガの原因になることがあります。

⊘ 分解禁止
●お客様ご自身で改造はしない。
ケガの原因になることがあります。

農具の吊り下げについて

- 農具は下記質量を目安に耐荷重の範囲内で吊り下げてください。

農具フック・刈払機置きの耐荷重 1個あたり

15kg

農具の質量(目安)

鉄製スコップ	約1.5～2kg
クワ	約1.8kg
刈払機	約3～7kg

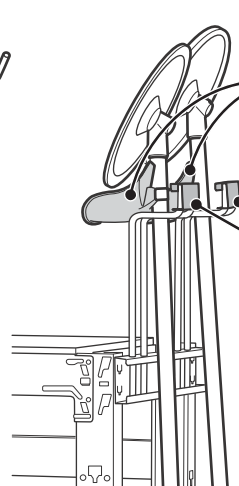
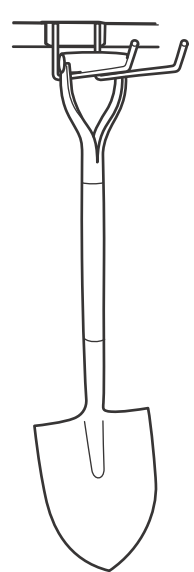
- 耐荷重は全体に平均的に荷重を加えた状態を想定しています。先端に荷重を集中させると変形することがあります。

農具の吊り下げ例

ースコップー

ークワー

ー刈払機ー

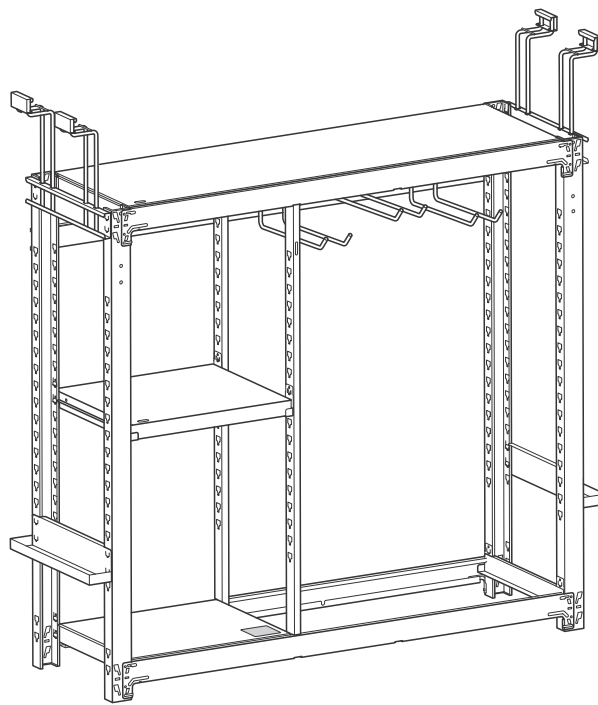


- 刈払機は最大で4台収納できますが、Uハンドルの刈払機は2台横に並ばない物もあります。

強力スチール棚
農具収納
取扱・組立説明書



MRN-115

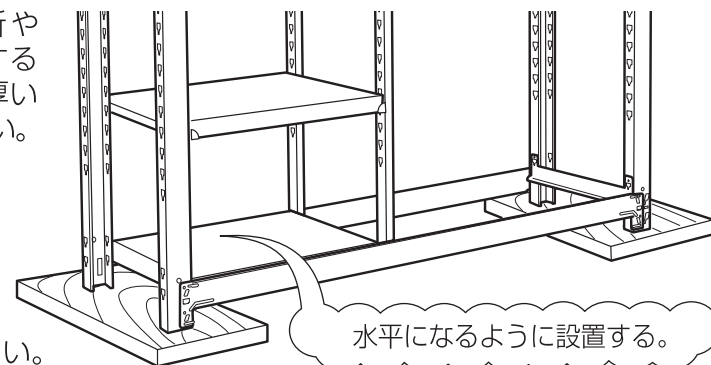


このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱・組立説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は大切に保管してください。

製品の設置について

- 地面が柔らかい場所や不安定な場所に設置するときは、支柱の下に厚い板などを敷いてください。

- 左右の地面の高さが一定ではないときは、棚板が水平になるように薄板などで高さを調整してください。



お手入れ方法

- 汚れたら、洗剤をうすめた水またはぬるま湯にやわらかい布をひたし、よくしぼってから拭き取ってください。
- シンナー・ベンジン・クレンザーなどは使用しないでください。

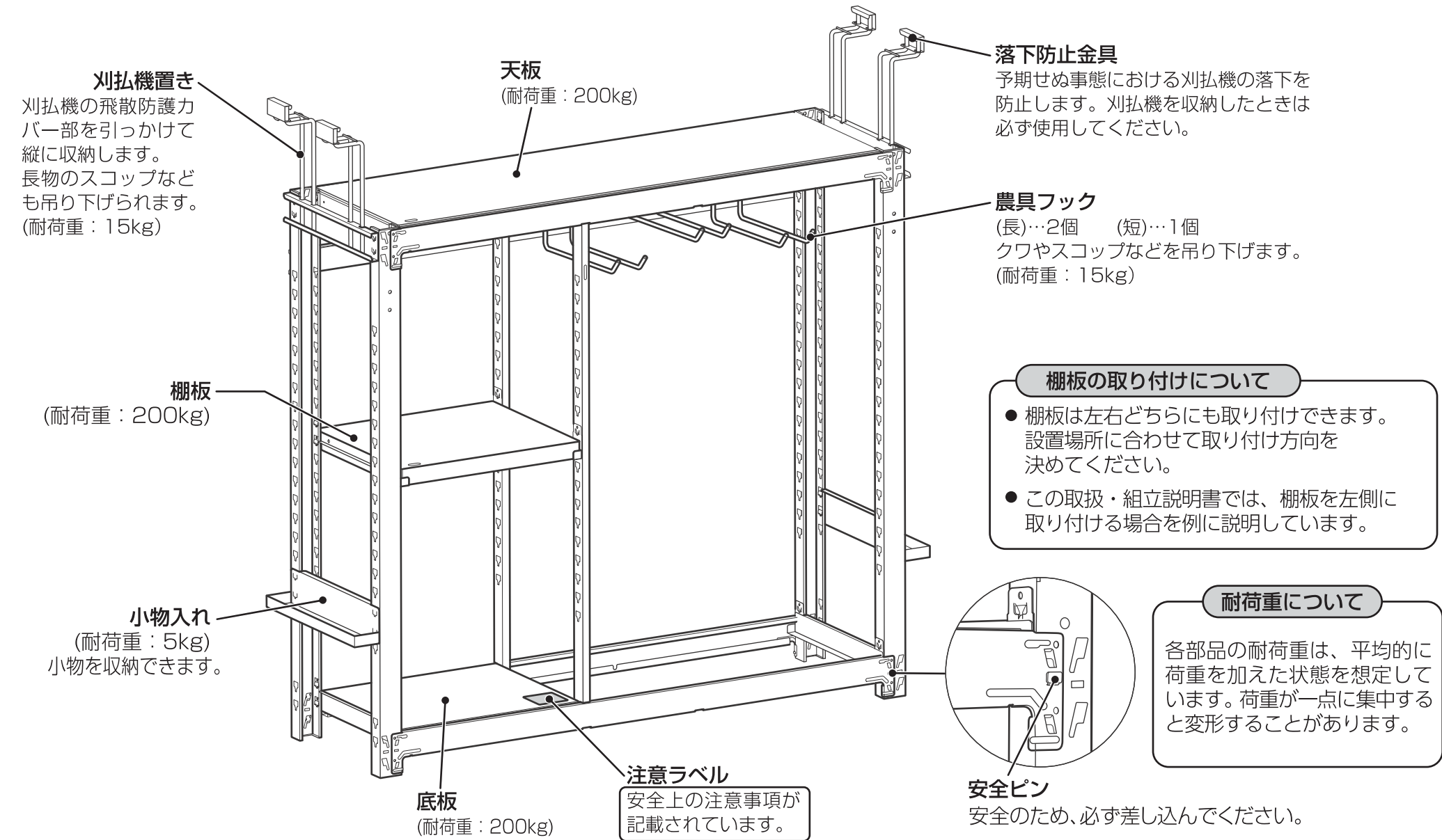
アフターサービスならびに品質に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店または下記までご連絡ください。

エムケー精工株式会社

〔支店〕 札幌支店 TEL 011-881-7311
仙台支店 TEL 022-258-3861
東京支店 TEL 03-3604-6441
静岡支店 TEL 054-238-0111
新潟支店 TEL 025-287-0911
長野支店 TEL 026-272-8701

〒387-8603長野県千曲市雨宮1825
TEL 026-272-4111 (代)
FAX 026-274-7089 (代)
名古屋支店 TEL 052-461-7261
金沢支店 TEL 076-264-1115
大阪支店 TEL 06-6386-5800
四国支店 TEL 087-868-6781
広島支店 TEL 082-871-7355
福岡支店 TEL 092-612-1077

各部のなまえと使いかた



部品一覧 組立ての前に部品と数量をご確認ください。

天板 裏面に品質表示ラベルが貼ってあります。 1個	底板 注意ラベルが貼ってあります。 1個	棚板 45cm 1個	ビーム 4個
背面補強 1個	中支柱 1個	小物入れ 2個	刈払機置き 2個
		農具フック 長 2個 短 1個	
支柱 4個	棚受け(大) 丸穴が1カ所 2個	棚受け(上) 2個	落下防止金具 4個
	棚受け(小) 丸穴が2カ所 2個	板ナット 1個	ネジ(長) 径 長さ 6mm×35mm 2個
		ネジ(短) 径 長さ 6mm×12mm 4個	ナット 径 6mm 4個
		補強受け 2個	安全ピン 8個

用意していただくもの

- 金属製のハンマー**または**プラスチックハンマー**・**木づち**
製品組立て時のキズや変形を防ぐため、当て板などを用意してください。
プラスチックハンマーや木づちなどの軽いハンマーを使用すると組立てしにくい
場合があります。
かん合部がきついときは、金属製の重いハンマーを使用してください
- ドライバー**
ドライバーはネジ頭の溝によく合っているものを使用してください。
- 手袋**
組立てのときは、通常使用するところ以外に手が触れてケガをするおそれ
がありますので、必ず手袋を着用してください。
- 厚い板など**
設置する地面が柔らかい場所や不安定な場合は、支柱の下に厚い板を敷いてください。

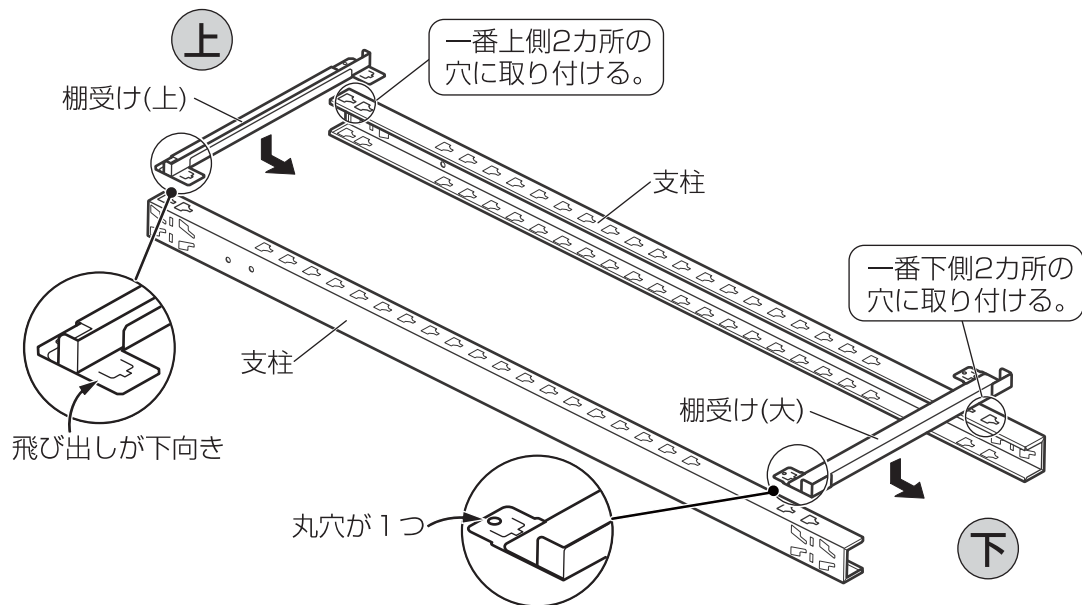
組立て時の注意

- 組立て場所を十分に確保して作業してください。
- 組立て時のキズを防止するため、組立て場所の床にダンボールなどを
敷いてください。
- 安全のため2人以上で組立ててください。
- この製品は全ての部品を取り付けることにより、強度を保っていますので
全ての部品を必ず確実に取り付けてください。
- 部品はきっちりとかん合するまで十分に打ち込んでください。
かん合が浅いと強度不足になったり、部品がはずれるおそれがあります。
- 部品を取り付けるときに、ハンマーで手を打ったり、部品で手をはさま
ないように充分注意して下さい。

組立順序

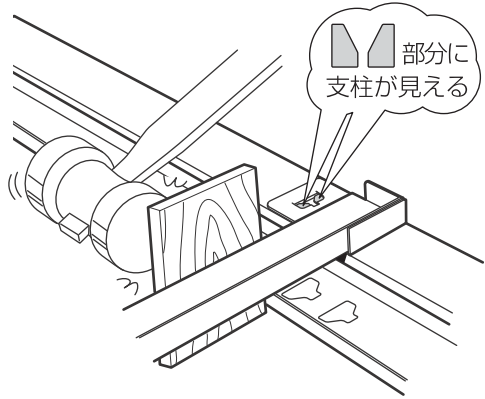
1 棚受け(上)と棚受け(大)を支柱に取り付けます。

- 支柱2本を右図のように平行に置きます。
- 支柱の □ 形状をした穴の一番上側2カ所と棚受け(上)の2カ所の切り起こしを合わせます。
- 棚受け(上)の上側をハンマーでたたき、しっかりと支柱に打ち込みます。
- 同様に支柱の一番下側の穴2カ所に棚受け(大)を取り付けます。
- 同じ要領で残りの支柱にも棚受け(上)と棚受け(大)を取り付けます



ご注意

棚受けは初めから強く打ち込まず、様子を見ながら少しずつしっかりとかん合するまで打ち込んでください。



2 ビームと背面補強を取り付けます。

(必要なネジ…ネジ(短) 4個 ナット 4個)

- 組立順序1で組立てた支柱を棚受けが内側に向くように起こします。
- ビーム2本と背面補強を取り付けます。

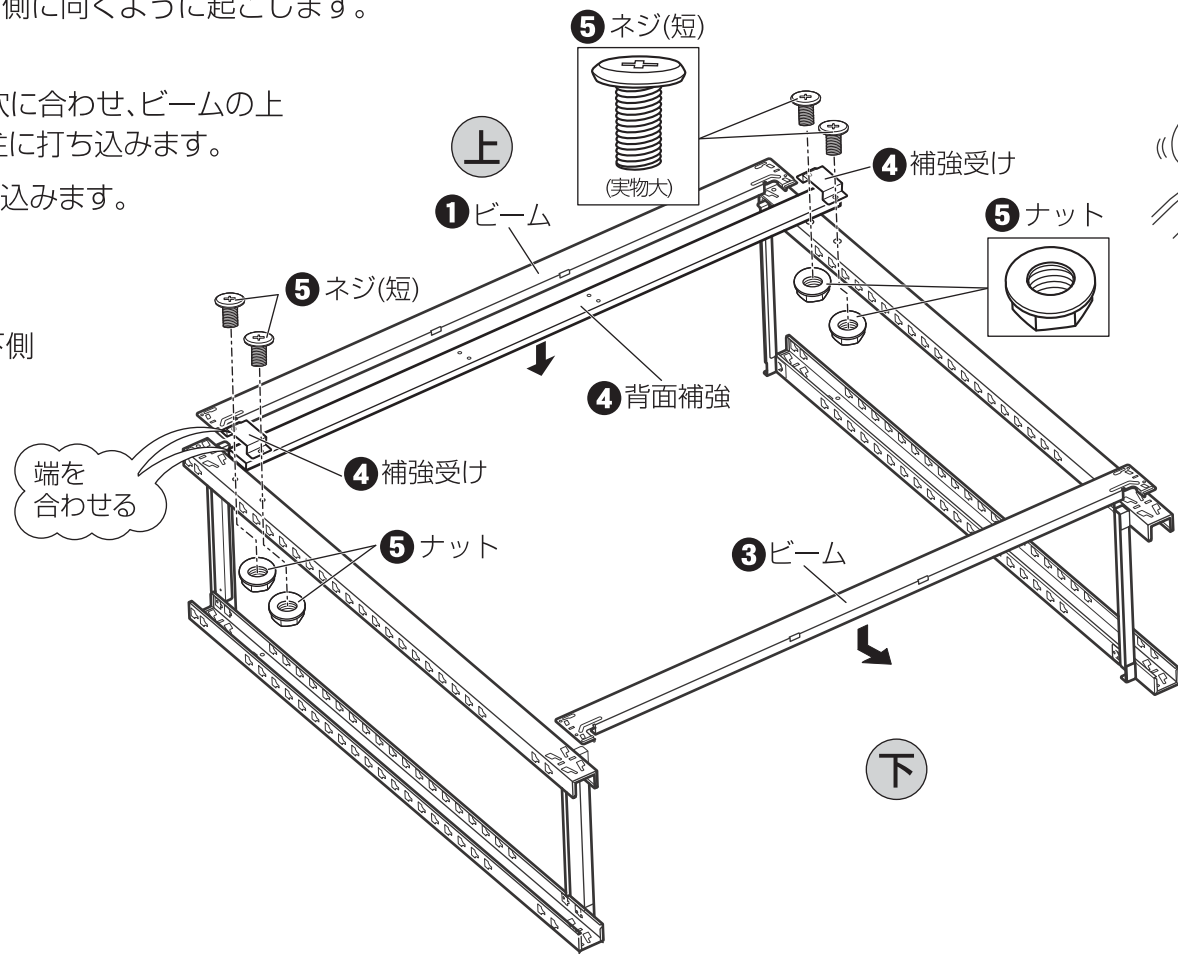
- 1 ビームの切り起こしを支柱の上側の穴に合わせ、ビームの上側をハンマーでたたき、しっかりと支柱に打ち込みます。
- 2 安全ピンをビームの左右2カ所に差し込みます。

下側のビームを打ち込むときには
はずれないようにするためです。

- 3 1 2と同じ要領でビームを支柱の下側に取り付け、安全ピンを差し込みます。
- 4 背面補強を支柱の上側にある丸穴の間におき、補強受けをかぶせます。(2個)
- 5 背面補強の端と補強受けの端を合わせて、補強受けをネジ(短)とナットで固定します。(4カ所)

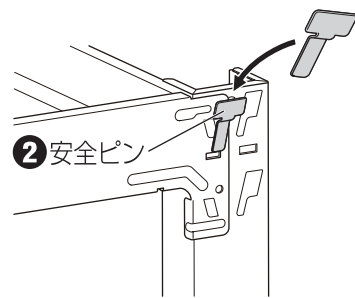
端が合っていないと、中支柱が取り付けません。

- 支柱を静かに立てます。
- 残り2本のビームを 1 2と同じ要領で反対側に取り付けます。



お願い

安全ピンは左右2カ所ずつ前後、上下4本のビームすべてに必ず差し込んでください。



3 中支柱をセットします。

(必要なネジ…ネジ(長) 2個 板ナット 1個)

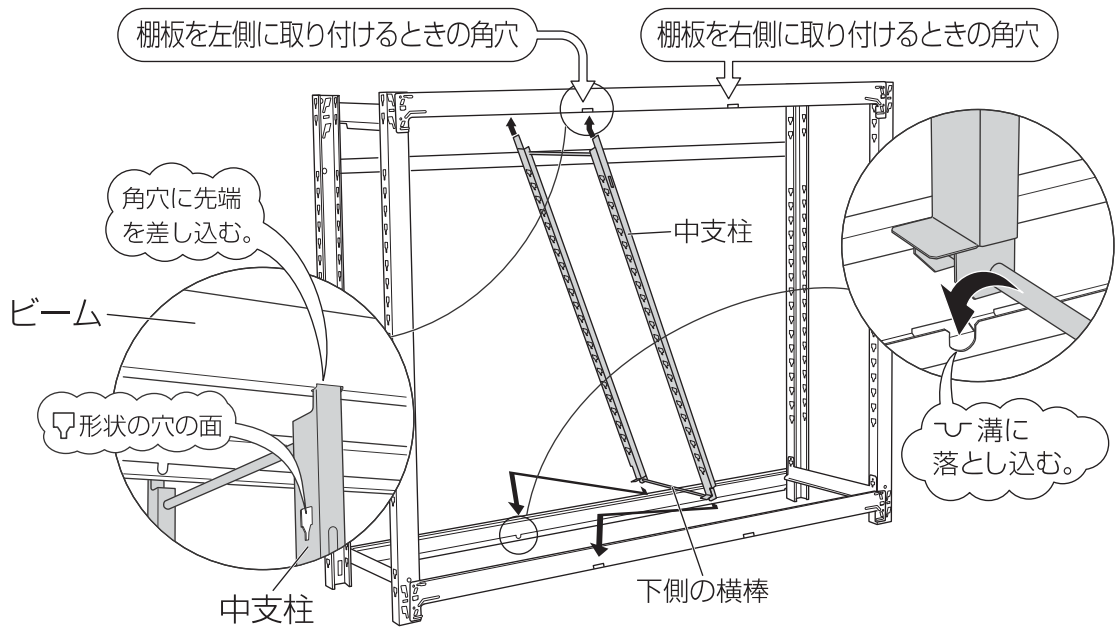
お願い

中支柱は図を参考に上下の向きに □ 形状の穴の方向を確認して取り付けてください。

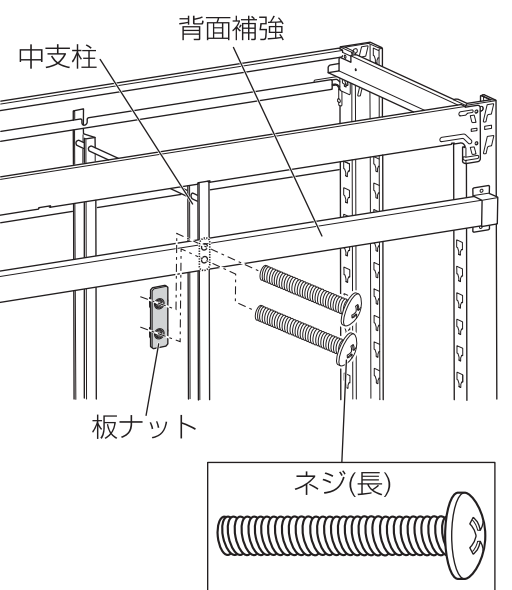
- 図のように中支柱を斜めにして、上部先端をビームの角穴に差し込みます。
- 上部先端をビームの角穴に差し込んだまま、下側の横棒をビームの ∩ 形の溝に落とし込みます。
- 中支柱の長穴と背面補強の丸穴を合わせ、ネジ(長)と板ナットでしっかりと固定します。

ご注意

中支柱の向きと、角穴と ∩ 形の溝の位置を合わせないと棚板がセットできなくなります。



背面から見ています。



棚板を右側に取り付けるときは、中支柱の向きを右図で確認してください。

□ 形状の穴の面をこちら側に向ける。